

拠点5 板橋 (板橋区立赤塚福祉園)

1. 運営方針・目標

今年度は、生活介護事業58名(定員60名)、就労継続支援B型事業43名(定員40名)、計101名でスタートする。生活介護事業では、昨年度、4名が退園した(うち2名は死亡による)。就労継続支援B型事業では、昨年度、1名が退園し、今年度、新たに2名が入園する。板橋区独自事業の緊急保護事業は、家族の高齢化対応、子育て支援対応およびレスパイトが中心となっているが、今年度も特に緊急時対応を重点に運用する。

赤塚福祉園は、受容的交流の理念に基づき、「私たちは利用者のそのままを受け容れ、ひとり一人の「その人らしさ」と「ふつうの暮らし」を大切にしたいと考えています。」を基本方針とする。この基本方針の下、利用者ひとり一人に正面から向かい合い、ひとり一人の自己実現に向けて、丁寧な支援を行っていく。また、利用者のみならず、家族を含めた総合的個別支援の在り方を求め、実践しているところであるが、さらに、相談支援事業所との連携を積極的に進めていく。利用者の地域での生活を豊かにするため、地域防災訓練をはじめとする地域行事への参加等も含め、地域との交流を一層積極的に推進し、地域住民の理解と協力を得ていく。また、障害者差別解消法の施行を契機に運営全般を見直し、利用者への支援内容、家族への対応等について、これまでも増して留意した運営を行う。

以上の運営方針の下、平成28年度からの5年間の指定管理期間の初年度として、下記の目標を定め運営する。

- 1) 平成28年度からの指定管理期間において、区立福祉園としての在り方・役割の再検討をすすめる。
- 2) 生活介護事業、就労継続支援B型事業において、作業活動(受注、リサイクル、ラスク・パン、創作)の一体化を進め、活動内容の充実を図ると共に職員全体の支援力の向上を図る。
- 3) これまで人材育成の観点で職員のグループ間交流を積極的に計ってきたところであるが、日常業務においても、より一体的な事業所運営を進めていく。
- 4) 高齢化等、多様化する利用者及び利用者家族の課題に対応するため、職員による相談支援体制の充実を図り、相談支援事業所との連携を積極的に進める。
- 5) 昨年度の医療的ケアに関する事故の反省を踏まえ、利用者の安全の確保を徹底する。また、リスクマネジメントの一環として、従来にまして「ヒヤリハット」の活用を図ると共に、各種マニュアルの整備見直しを継続して行う。
- 6) 権利擁護については、障害者差別解消法の施行に合わせて示された「福祉事業者ガイドライン」に基づいて運営全般の再点検を行うとともに、虐待防止チェックリストによる自己点検を行い、職員の意識向上を図る。また、個人情報保護、権利擁護、虐待防止等法令遵守に関する職員研修を実施し、その模範となる事業所を目指す。
- 7) 職員研修については、全職員を対象とする研修の他、個々の職員の資質向上、キャリア形成を図るために、職員個別研修計画を作成し、法人内外の研修に積極的に参加する。
- 8) 震災対策、消防計画と一貫した事業継続計画(BCP)の策定を行い、職員の意識向上を図るとともに、継続して訓練を実施する。また、備蓄食糧・備品を見直し、充実をはかる。
- 9) 利用者アンケート等を活用し、CS(顧客満足度)の向上をはかる。特に挨拶の徹底、施設設備4S(整理整頓清潔清掃)の向上等基本事項の徹底をはかる。
- 10) 人事院公務員研修所、福祉系大学等からの実習生・研修生の受け入れを積極的に行う。また、地域の小中学校からの職場体験学習等にも積極的に協力する。
- 11) 地域との関係においては、赤塚福祉園まつりの開催、地元町会との合同防災訓練の実施、「音を楽しもう」をはじめとした地域行事への積極的参加、地域のオープンスペースを活用した展示販売活動等を通じて、地域住民との交流を進める。また、透明性を確保した運営を行うため、積極的に情報提供を行う。
- 12) 法人内他事業所との連絡を密にし、情報の共有、事業の協力を強化していく。

2. 月間・年間予定
別紙のとおり。

3. 職員体制
組織図を添付

4. 職員研修

1) 園内研修

①動作法研修（生活介護支援員対象）

藤岡孝志氏、牛山卓也氏による実技指導及びケース会議

②肢体不自由者介護技術及び車椅子操作講習（生活介護支援員対象）

介護技術及び車椅子操作の実技講習

③バス添乗講習（バス添乗業務を行う支援員対象）

生活介護施設の通所バスの添乗時の安全管理、留意事項、車椅子の固定方法など福祉バスの協力による実技指導

④新人職員研修（新人職員対象）

研修係による入門研修およびチューターによる日常指導

⑤救急救命講習（全職員対象）

消防署職員による心肺蘇生法及びAEDによる除細動等の講義及び実技指導

⑥権利擁護研修（全職員対象）

権利擁護、事故防止、虐待防止に関する研修

⑦感染症対策研修（全職員対象）

産業医による感染症対策に関する講義

⑧復命講習（全職員対象）

出張研修に参加した職員が自己の習得した内容を復命講習する。

⑨障害者福祉講習（全職員対象）

園長による最新の福祉の状況に関する講義

2) 園外研修

①法人主催各種研修会

②板橋区内福祉園職種別研究会（生活介護、就労継続支援、医務、厨房各職員対象）

③全国社会福祉法人経営者協議会主催の経営者研修会

④全国社会福祉協議会主催の各種職員研修会

⑤東京都社会福祉協議会主催の各種職員研修会

⑥日本知的障害者福祉協会主催の各種職員研修会

⑦全国社会就労センター協議会主催の職員研修会

⑧東京都障害者通所活動施設等職員研修会主催の職員研修会

⑨日本自閉症協会主催の職員研修会

⑩全国自閉症者施設協議会主催の職員研修会

⑪その他必要に応じた各種研修会

5. その他建物改修、設備・備品等購入等）

建物・設備の維持管理については、日常の保守管理の他、下記の事項を中心に、板橋区との協議を進めていく。

- ・ 1階トイレ改修（身障者用トイレ改修）
- ・ 空調機器更新（空調機及び熱交換型換気設備）
- ・ 建物漏水箇所修繕
- ・ LED照明器具への切り替え

以上

平成28年度 年間行事等実施計画 赤塚保育園

項目 月	行事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理			
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容		
4月		入園式 全体保護者会				新入職員研修 職員会議		防災教育		衛生委員会
5月		グループ別保護者会		はばたき宿泊旅行		権利擁護研修① 職員会議				衛生委員会
6月		全体保護者会		きらら活動公開		権利擁護研修② 職員会議		非常時通信訓練 避難訓練(地震)		衛生委員会
7月	16	赤塚福祉園祭り				権利擁護研修③ 職員会議		救命講習(AED)		衛生委員会
8月						職員会議		避難訓練(火災)		衛生委員会
9月		区スポーツ大会		きらら宿泊旅行		職員会議		避難訓練(地震)		衛生委員会
10月				きらら宿泊旅行		感染症研修 職員会議		避難訓練(火災)		衛生委員会
11月		土曜日開園				職員会議		地域協定訓練		健康診断・歯科検診 衛生委員会
12月		クリスマス会				職員会議		避難訓練(地震)		衛生委員会
1月		土曜日開園				職員会議		避難訓練(火災)		衛生委員会
2月				きらら活動公開		職員会議		バス乗降時訓練		衛生委員会
3月		全体保護者会				職員会議	12	地域総合防災訓練 引き継ぎ訓練		衛生委員会

事業拠点組織図(板橋区立赤塚福祉園)

